

令和6年度事業計画

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

I 事業活動方針

1 はじめに

佐倉市観光協会は、歴史や自然環境などを活かしたイベント等を企画し、広く佐倉市を紹介することを最大の使命と捉えながら、佐倉市の観光振興を目的として昭和32年に任意団体として発足しました。その後、社会的役割の重要性から公益的な組織体となることが求められ、平成元年には社団法人の観光協会として新たな発足をしました。

平成20年の国の公益法人制度改革に伴い、新制度への移行について検討を重ね、平成24年秋に公益社団法人に移行することを選択して、千葉県知事に移行申請をしました。

このことにより、平成25年4月1日から公益社団法人佐倉市観光協会として、新たな発足をしました。新制度移行から、早や12年が経過し、あらためて、公益社団法人観光協会の役割と使命を再認識し、佐倉市の観光振興と佐倉市を訪れる多くの旅行者のため、組織の充実に努めてまいります。

さらに、佐倉市、佐倉商工会議所並びに関係団体と一層の連携を図りサービスの向上に努めてまいります。

2 基本目標及び方針

佐倉市がもつ豊かな歴史的遺産と文化・自然資産を広く紹介するとともに、これらを活用した各種イベント等を開催し、佐倉市民及び佐倉市を訪問する人々に市の魅力を十分に伝え、楽しさ、面白さを心のこもったおもてなしにより提供してまいります。また、観光振興を通じて、地域文化の向上及び地域経済の発展に貢献し、北総地域の中心的観光都市としての佐倉市の発展に寄与することを目標とします。

さらに、佐倉市の観光振興の将来像として策定された、佐倉市観光グランドデザインの基本理念に掲げられた歴史の趣き、自然の恵み 『となりの観光地・佐倉』～気軽に、繰り返し、楽しめるものまち～の実現に向け、市をはじめ関係団体等と一層の連携を図り、観光振興の推進に取り組んでまいります。

3 イベントへの取り組み

新型コロナウイルス感染症予防対策の緩和により、イベントには多くの来場者が見込まれることから、来場者の安心と安全確保に努めてまいります。

4 関係機関等との連携

佐倉市の協力のもとに、市民・企業・各種団体等と連携して、交流人口の増加が図れるよう、佐倉市観光グランドデザインに掲げられた方針、施策に基づいて、公益法人としての事業を展開し、協会の役割を確実に果たしていけるように努めてまいります。

今後とも、佐倉市、佐倉商工会議所並びに関係団体と一層の連携を図ってまいります。

5 収益事業の充実

佐蘭花売店及びレンタサイクル事業の充実に努め収益事業の向上に努めてまいります。

売店においては、商品の充実を図るとともに、年間を通して来店者の増加が図れるよう運営の在り方について検討をしてまいります。

また、城郭ブームにより佐倉城址をはじめ本佐倉城跡を訪れる旅行者と御城印を求める方が増えてきており、好評であることから引き続き販売をしてまいります。

さらに、ふるさと広場「佐蘭花」を訪れるサイクリストも増加の傾向にあることから、四季を通して訪れるよう、対応策等について検討をしてまいります。

レンタサイクルにつきましては、利用者の需要状況を勘案し、電動アシスト自転車の増車について検討してまいります。

併せて、サイクリングコース等の整備が図れるよう引き続き、千葉県、佐倉市と連携をしてま

います。

II 事業内容

1 観光振興事業（公益事業）

（1）観光イベントの開催

① 桜に染まるまち、佐倉（受託）

期 日 令和6年3月9日（土）～4月7日（日）
場 所 京成佐倉駅～新町通り～佐倉城址公園～佐倉ふるさと広場
来場推定人数 10,000人

② 佐倉城址のさくら（受託）

期 日 令和6年3月28日（木）～4月2日（火）
場 所 佐倉城址公園 来場推定人数 10,000人

③ 第36回佐倉チューリップフェスタ（共催）

期 日 令和6年3月27日（水）～4月21日（日）
場 所 佐倉ふるさと広場とその周辺 来場推定人数 100,000人

④ 風車のひまわりガーデン（受託）

期 日 令和6年7月6日（土）～7月21日（日）（予定）
場 所 佐倉ふるさと広場 来場推定人数 30,000人

⑤ 佐倉コスモスフェスタ（受託）

期 日 令和6年10月5日（土）～10月20日（日）（予定）
場 所 佐倉ふるさと広場 来場推定人数 30,000人

⑥ 佐倉の秋まつり（協賛）

期 日 令和6年10月11日（金）・12日（土）・13日（日）予定
場 所 新町通り周辺 観覧推定人数 100,000人

⑦ 第63回 佐倉市民花火大会（実行委員会）

期 日 令和6年8月3日（土）
場 所 印旛沼湖畔（佐倉ふるさと広場）

⑧ 第25回 時代まつり（実行委員会）

期 日 未定
場 所 未定

⑨ JR駅からハイキング特別号（協力）

期 日 令和6年4月実施予定
場 所 旧佐倉城下町を中心 参加推定人数 2,000人

⑩ JR駅からハイキング・佐倉（協力）

期 日 令和7年1月実施予定
場 所 旧佐倉城下町を中心 参加推定人数 2,000人

（2）観光案内所の運営

佐倉市より受託している、京成佐倉駅前観光案内所、JR佐倉駅前観光情報センター、臼井観光案内所における観光案内業務を通じて、市内の観光施設・飲食店・宿泊施設等のパンフレット、イベント等の情報誌、佐倉のお土産品など観光関係資料等を多数用意して、観光来場者の便益に供してまいります。

(3) 佐倉ふるさと広場管理運営事業

佐倉ふるさと広場は、平成元年に日蘭修好380周年記念事業の一環として開催したチューリップまつりを契機として、隣接する印旛沼の自然景観を背景に市民の憩いの場及び交流の場として開設されました。平成6年には本格的オランダ風車が整備され、風車については、設置当初から当協会が管理運営を受託しております。

近年施設の経年劣化が進み開館日数を制限しての運転になりますが、多くの来場者に親しまれていることから、引き続き管理運営に努めてまいります。

また、平成29年度末にリニューアルされた管理棟及び佐蘭花売店の運営についても、コロナウィルス感染症予防対策が緩和されたものの、安心と安全を確保し充実したサービスの提供に努めてまいります。

さらに、佐倉ふるさと広場を中心に開催のフラワーフェスタにおいては、年間を通して、チューリップ、菜の花、ネモフィラ、パンジー、ヒマワリ、コスモスなどの花々の育成管理が行われており、これらの花々の球根・種子等の植付け・管理などをはじめ、広場及びその周辺の環境整備などについても当協会が受託しており、多くの来場者に感動を与えられるよう良好な維持管理に努めてまいります。

(4) 印旛沼周辺地域の舟運事業

佐倉市が購入した小型船舶2艇（さくら及び龍神）をふるさと広場の船着き場を拠点に印旛沼での運航事業を実施するもので、この舟運事業について当協会が受託しています。

事業内容

- ・遊覧船 … ふるさと広場脇棧橋とサンセットヒルズ下棧橋間を原則として、4月1日から10月31日までの年間7か月間の毎週土曜と日曜日に1日3往復（イベント開催時・荒天時等を除く）を実施。
- ・貸切船の運航 … 貸切にて市内の小、中学校の児童・生徒をはじめとした印旛沼の環境学習及び周遊運航を実施。
- ・乗合船の運航 … ふるさと広場でのイベント開催時を中心に運航を実施。

(5) 観光宣伝用印刷物等の刊行・配布

① イベント用ポスター等の作成・配布

- ・佐倉フラワーフェスタポスター、パンフレットの作成
- ・イベント概要、案内用チラシの作成
- ・市内各イベント用チラシの配布
- ・市内案内パンフレットの配布

② 観光ガイドマップ等の作成・配布

- ・「佐倉散歩」の改定および増刷
- ・「佐倉チューリップフェスタ」案内冊子の作成
- ・サイクリングマップの増刷
- ・近隣市町村のイベントチラシ配布
- ・その他観光に関するマップ・リーフレット等の作成
- ・観光船マップの増刷
- ・佐倉城址さくらマップの増刷

③ インターネットによる情報発信

HPの充実を図るとともに、観光情報の発信に努めてまいります。

今後とも最新の情報を発信し、利用者の利便性を高めてまいります。

また、SNSを活用した情報発信を行い、新たな集客の掘り起こしを行うほか当協会の運営に関わる関係資料等の情報公開に努めてまいります。

2 観光資源開発事業（公益事業）

（1）観光資源の管理及び活用

① 佐倉ふるさと広場周辺の観光施設維持管理

ふるさと広場周辺の駐車場をはじめ棧橋及び船舶、湖畔の桜等について、引き続き、適正管理に努めてまいります。

② 歴史的・文化的資源の活用

市内に点在する歴史的・文化的資源の新たな活用方法について模索し、市と関係機関等との連携により交流人口の増加に努めてまいります。

③ インスタグラムフォトコンテストの開催

スマートフォン等で気軽に投稿できる便利さから応募者が多く、引き続き令和6年度においても春のチューリップフェスタや時期を考慮し実施を予定するものです。

3 収益事業

（1）レンタサイクル事業の運営

管理台数 87台

貸出場所 京成佐倉駅前観光案内所、JR佐倉駅前観光情報センター、佐倉ふるさと広場、王子台サンサンサイクル、臼井観光案内所(レイクピアウスイ1階インフォメーション内)

（2）佐倉ふるさと広場 売店運営

佐倉ふるさと広場への来場者のサービス向上を図るため、佐倉市の特産品やオランダグッズなどの販売を通して、佐倉のPRに努めてまいります。

また、地元畜産農家との連携によるソフトクリームの販売をはじめ、地元農業者、商業者による新鮮野菜や商品の販売を通して魅力ある売店運営に努めてまいります。

さらに、新型コロナウイルス感染症予防対策の緩和により、イベントには多くの来場者が見込まれることから、来場者の安心と安全確保に努めてまいります。

（3）今後の収益事業運営

佐倉市において計画されている佐倉ふるさと広場拡張整備に伴い、収益事業の売店運営をはじめ、レンタサイクル事業の運営形態等について、佐倉市と連携を取りながら検討を始めてまいります。

また、新たな収益事業運営について、協会所有の土地活用を含め調査研究を始めてまいります。